



猿投中学校

進路通信

2023年 11月10日(金)

第22号 文責：石川 雄祐



推薦願い書・特色受検届を配付しました

11月10日(金)の学年集会で、推薦願い書と特色受検届を配付し、書き方を説明しました。

推薦入試は、国立、公立、私立・専修学校でそれぞれ実施されます。推薦入試での受験を希望する人は、まず推薦願い書を提出してください。推薦願い書には、志望理由を書く欄があります。進学を希望する理由、入学後に努力したいこと、進学先の学校を卒業した後の進路はどうしたいのかなどを、具体的に書いてください。また、自分自身の実績を詳しく書きましょう。具体的には、部活動の大会での成績や今までの学校生活での行事や生徒会活動、奉仕活動への取組、英検などの資格になります。

特色入試は、学校によって有無が異なります。特色入試がある学校の中でも、出願資格や試験内容が大きく異なります。また、公立高校の特色入試では、志望理由の登録が必要となります。特色受検届の中に記載する欄があるので、必要事項を記入して提出してください。

推薦願い書は、国立の場合は11月28日(火)まで、私立・専修学校の場合は、12月8日(金)の保護者会終了まで、公立については、12月22日(金)までに提出してください。提出後に校内審査を受けて、最終的に学校長が推薦に値すると判断した場合、推薦入試を受験することができます。推薦願い書を出したからといって、必ずしも推薦されるわけではありません。また、推薦されたからといって必ず合格するわけではありません。特色入試は、学校からの推薦は不要ですので、希望すれば受験することができます。

推薦入試については、それぞれの高校で定員が変わってきます。例えば、私立・専修学校では定員の約80%が推薦入試で合格します。国立は約30%、公立高校の場合、普通科では約15%、専門学科と総合学科は約45%が推薦入試で合格します。

特色入試についても、それぞれの高校で定員が変わってきます。数名という学校もあれば20%という学校もあります。詳しくは、各学校の募集要項を見て確認してください。

私立高校・専修学校の受験について

先日、「令和6年度入試に係る愛知県私立高等学校生徒募集要項」を配付しました。書いてある内容の中で特に注意してもらいたいことが2点あります。

1点目は、一般入試の試験日についてです。1月23日(火)、24日(水)、25日(木)の3日間の間に行われます。最大で3校まで受験できますが、同一受験日の学校を2校受けることはできません。私立高校を複数校受ける場合には、試験日が重なっていないことを確認してください。

2点目は、入学金(前納)についてです。多くの学校が合格発表から一週間以内に納付期限が設定されています。この入学金(前納)を納付しないと入学資格が失われます。必ず期限内に納付できるようにしてください。なお、この入学金や入学検定料の納付については、高校によって方法が違います。入学金の振り込みについては金融機関からの振り込みしかできないという高校もあるので注意してください。

☆公立・私立を問わず、全日制の高校に合格した場合は、公立高校の二次募集への出願資格がなくなります。例えば、私立高校に合格したのに、私立高校の入学金の前納金を納付せず、公立高校に不合格となった場合は、二次募集の全日制高校の受験ができなくなります。